

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局障害福祉部障害福祉課
評価対象期間	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立洞海工芸舎	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市若松区浜町一丁目 10-25		
	設置目的	利用者の作業支援、生活支援、健康管理その他の支援を行うことにより障害者の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/>	ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/>	
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会		
	所 在 地	北九州市戸畑区汐井町 1 番 6 号		
指定管理業務の内容		障害福祉サービス事業所（生活介護、就労継続支援（B型）、自立訓練（生活訓練））の管理運営		
指定期間		平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント				
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み				
(1) 施設の設置目的の達成				
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。				
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。				
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。				
【所見】				
<ul style="list-style-type: none"> 事業計画に沿った適切な管理運営が行われており、各サービスにおいて、個別支援計画等に基づき、利用者の障害特性や個別のニーズにあったサービス提供に努めている。 就労継続支援B型について、より高い工賃獲得と社会参加の機会の拡充を目指し、施設外就労（2社12名参加）の取り組みに力を入れたことにより、平均工賃は25,232円に増加した。併せて、自主事業としてリユース食器レンタル事業に取り組み、それぞれに合わせた作業や活動を展開している。 新規利用者が少なかったこと、利用者のうち長期欠席者が出た事などにより、施設全体利用率が87.9%と目標（94%）を下回っている。 事業所紹介DVDの制作や広報紙を毎月（131部）発行するほか、ホームページの更新を年間35回行うなどの広報活動を実施している 				
【利用率】 単位：%				
年度	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度
目標値	—	93	94	94
実績	90	86.9	90.7	87.9
【月平均工賃額（就労継続B型）】 単位：円				
年度	H23年度	H24年度	H25年度	
実績	21,186	19,093	25,232	
(2) 利用者の満足度				
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。				
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。				
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。				
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。				
⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。				
⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果				

があったか。

[所見]

- ・アンケートの結果、施設の各サービスの「とても良い」、「良い」を合わせた評価は、87%（生活介護94%、就労支援87%）を超えており、利用者の満足度は高いものとなっている。
- ・利用者からの苦情に対して適切に対応していくため、法人として苦情解決制度を設けており、また、施設としても利用者からの出された意見や苦情等に対して適切に対応している。
- ・開催行事やイベントについて、利用者の意見を聞く場を設けるとともに、利用者による実行委員会を設置し、企画から実施までを主体的に参加できる機会を設けている。
- ・利用者へのサービス内容や行事説明に、視覚的な工夫をとり入れるなど、利用者個々の状態や家族等に配慮した情報提供等の取り組みに努めている。
- ・成年後見や他の福祉サービスの利用等についての相談支援、旅行や余暇活動として民間企業の指導による釣り体験等のレクリエーション活動や、行事（交流会・夏祭り等）は、企画から実施まで利用者が主体的に関わり、意見が反映されるよう取り組みを行うことで、利用者の日々の生活の充実や生きがいづくりにも努めている。
- ・生活介護事業では、日常的に、「絵画」「踊り」「写真」「エアロビクス」「スイミング」「フラダンス」「3B体操」「生け花」等の教室や「土曜日の外出活動」「釣り」等、多様なプログラムを用意しており、利用者の選択肢を確保し、あわせて、地域の方を講師に招くことで、利用者との交流も図られている。

施設の総合評価

【満足度】

単位：%

年度	H23年度	H24年度	H25年度
目標値	93	94	94
実績(生活介護)	80.5	81.0	94.3
実績(就労支援)	95.7	91.2	87.4

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[所見]

- ・委託業務における入札の実施や複数の見積りを徴収することによる経費の削減に努めている。

【光熱水費】		単位：千円		
年度	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度
予算	—	1,818	1,818	1,818
決算	1,702	1,645	1,750	2,077

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

- 提供するサービスは法定であり、報酬単価も国基準であるので、収入増加の工夫はできない。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。

② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。

③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。

[所見]

- 施設内において管理運営にあたる人員は適正に配置されており、施設の維持管理は適切に行われている。
- 職員の業務及び能力開発に関し、目標管理に基づいた育成を計画的に行っており、外部研修の活用等により、職員の資質・能力の向上を図っている。
- 「若松みなと祭り」や、町内会の「そうめん流し大会」等への参加、地域の方との交流（夏祭りや交流会）を開催するなどして地域との交流、障害の理解促進に取り組んでいる。
- 職場実習として、大学・専門学生を実習生として3名受け入れ、将来の社会福祉人材の育成に貢献している

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。

② 施設の利用者に対する人権が尊重され、また、身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。

③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。

④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。

⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。

⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。

⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。

⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

[所見]

- ・利用者の個人情報保護や事故防止等のマニュアル整備や人権、虐待防止についての研修会の実施や参加、職員間の討議を行うなど、適切な運営に努めている。
- ・危機管理体制を整えており、「ヒヤリハット」の速やかな対処と職員間の情報共有を図るなど、事故に対する意識向上に取り組んでいる。
- ・定期的なカンファレンスにより、利用者支援についての振り返りを行うなど、適切な支援に向けた取組みが行われている。
- ・避難訓練、防災情報の収集など、救急救命に対する職員の技術及び意識向上に取り組んでいる

【総合評価】

[所見]

事業計画に沿って施設の運営管理が適切に行われており、利用者の満足度は非常に高いものとなっている。

利用者の障害特性やニーズにあったサービス提供に努めており、特に就労継続支援（B型）では、施設外就労の活用やリユース食器レンタル事業の自主事業化を図り、利用者に関わせた作業や活動を展開している。

また、職員の資質・能力向上についても、目標管理がなされ計画的に行われている。

[今後の対応]

現状に引き続き、施設の管理運営の適切な実施を期待する。